

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	天然物ケミカルバイオロジー：分子標的と活性制御
領域代表者	上田 実（東北大学・大学院理学研究科・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、天然物リガンドのスクリーニングと最適化を通じて標的タンパクの同定と複合体の構造解析を行い、様々な生命現象の解明と制御を目指した研究課題である。従来からの天然物化学を学際融合分野に導くように計画されており、化学－生物融合研究の新しい指針を示すものである。天然物の有する優れた生体分子認識機能を最大限に開発するため、多様な分野から研究者が参画し、アフィニティーの強弱によらない幅広いスクリーニングを可能とする手法を提案しており、過去に行われた類似のグループ研究とは一線を画するものとして高く評価される。比較的若く、独創的な研究実績を有する研究代表者のもと、力量ある研究者が参画した研究組織が構成されており、高水準の成果が期待される。</p>